

会 議 録

会議名	令和5年度第2回丸亀市社会教育委員の会
開催日時	令和5年10月30日(木) 14時00分～16時00分
開催場所	マルタス ROOM4
出席者	出席委員 金澤 泰宏・久米井 直人・宮武 恵美子・高橋 勝子・藤田 裕子・大村 隆史・塩田 康広・中俣 保志 欠席委員 西川 昌宏・倉田 眉貴子 傍聴人 なし 事務局 市民生活部 田中部長 生涯学習課 谷本課長・後藤副課長・田村主任
協議案件	議 事 (1) 令和5・6年度社会教育委員の会における協議テーマ、スケジュールについて 報 告 (1) 地域学校協働活動の周知と協力を呼びかけるチラシの作成・配付 (広報10月号に折り込み全戸配付) (2) 令和6年丸亀市二十歳の成人式について (3) その他
配付資料	次第 【資料1】丸亀市社会教育委員、丸亀市社会教育委員の会について 【資料2】令和5・6年度丸亀市社会教育委員の会での協議について 【資料3】令和5年度丸亀市民学級パンフレット 【資料4】生涯学習センター、飯山総合学習センターにおける令和4年度生涯学習講座 【資料5】生涯学習人材バンク 【資料6】リカレント教育に関する市ホームページ掲載記事 【資料7】地域学校協働活動チラシ 【資料8】令和6年丸亀市二十歳の成人式 【資料9】静岡市パンフレット「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に講座案内2023」

事務局	<p>【開会】</p> <p>本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、『令和5年度第2回丸亀市社会教育委員の会』を開会いたします。なお、倉田委員と西川委員につきましては、事前に欠席の連絡がありました。また、大村委員につきましては、所用のため15時退席の予定でありますことをご報告いたします。</p> <p>本日の会議につきましては、事前に送付しております『次第』に沿って進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
教育長	<p>【教育長あいさつ】</p> <p>丸亀市教育委員会教育長を昨年の5月から務めております末澤と申します。本日はご多用の中、お集まりをいただきまして、ありがとうございます。また、みなさま方におかれましては、日頃から様々な分野において、生涯学習活動、社会教育に積極的に取り組んでおられますことに心から感謝を申し上げます。</p> <p>さて、近年、社会は大きく急速に変化しております。私自身も子どもたちの様子を見ていましてそれを実感しております。子どもたちの姿に急激な変化が表れているというか、大きな影響を受けているように感じますし、それは多分、社会全体の問題ではないかと考えています。</p> <p>人生100年時代、Society5.0、新型コロナウイルス感染症などの新たな感染症、激甚化する自然災害への対応など、予測が困難な時代において、私たちは変化を前向きにとらえながら、力を合わせて、未来の社会を築いていくことが求められています。そして、そのためには、市民の皆様が主体的に学び続けることが重要でありますとともに、学習の成果が地域などにおける活動に繋がるような循環を生むことが社会教育に期待されているところであります。</p> <p>一方、本市に目を向けますと、生涯学習の拠点施設である丸亀市生涯学習センターが、令和6年度末をもって閉館となり、新しい拠点施設となる新市民会館が令和8年3月に開館する予定です。本市の生涯学習、社会教育の推進にとりまして大きな転換の時期を迎えており、ここ数年は新たな展開への準備期間と認識しています。このような重要な時期に、みなさまに社会教育委員を務めていただきますこと、大変ありがたく思っております。</p> <p>この社会教育委員の会におきましては、本市の生涯学習、社会教育を総合的に推進していくための計画であります「第4次丸亀市生涯学習推進計画」の着実な推進とともに、現在、本市が直面している課題の解決に向けて、みなさまの知見と経験に基づく、貴重なご意見を賜りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
各委員	<p>【各委員自己紹介】</p>

事務局	<p>【事務局自己紹介】</p>
事務局	<p>【会長・副会長選出】</p> <p>「丸亀市社会教育委員の会に関する規則」第2条には、「会には、委員の互選による会長及び副会長各1人を置く。」と規定されています。いかがいたしましょうか。</p>
委員	事務局案がありましたらお願いします。
課長	事務局としましては、会長を高橋委員に、副会長を大村委員にお願いしたいと考えております。いかがでしょうか。
委員	承認
会長	<p>【会長あいさつ】</p> <p>改めまして、高橋です。よろしくお願ひいたします。この度、会長を務めさせていただくこととなりました。会長という重責を背負ってこの場におりますが、身が引き締まる思いです。みなさんとともに丸亀市の社会教育の推進に邁進したいと思っております。</p> <p>実は今日の午前中、南中学校への出前講座をしてきました。「赤ちゃんふれあい教室」を7、8年前から開催しておりまして、今年度は3校の中学校へ行く予定です。赤ちゃんと一緒に連れて、中学3年生を対象に赤ちゃんとおふれあってもらおうという授業です。</p> <p>この事業を行って、赤ちゃんの効果はすごいなとつくづく思っているところです。</p> <p>学校に来ていないと思われる生徒が私たちの姿を見て、「今日は何があるん」と聞いてきたので、赤ちゃんが来る授業があることを伝えたところ、「自分も行こうかな」と言いました。その時、先生が「制服を着ていない子は学校には入れない」と言うと、しばらくしてその子が制服を着て授業に参加し、うれしそうに赤ちゃんを抱っこするということがありました。また、不登校で学校に来られない子が、赤ちゃんが来ることを知って登校してきたり、普段は人前で話すことが苦手な人見知りの子に赤ちゃんとおふれ合った感想を聞くと、自ら手を挙げて感想が言えたりするなど、生徒のみんなが素敵な笑顔で赤ちゃんを迎えてくれたなあと思っています。先生からも「教室では見られない子どもたちの顔を見ることができた。こんなにうれしいことはない」というような言葉をいただきました。</p> <p>学校は勉強するだけの場でなく、いろいろな人と出会える場であつたらいいのではないかと思います。</p>

	<p>赤ちゃんを連れて参加しているお母さんたちからも「子育てをしている自分が中学生にいろいろな話ができたり、自分の子どもにふれてもらったりして、自分が役に立ったような気がした」「我が子はこんなに小さいけれど、中学生くらいになるとこんなふうに成長するんだなと実感できた」というような感想があり、これが様々な年代による相互作用だなと感じました。生活の中での学びになっています。</p> <p>でも、これは一昔前までは当たり前のことだったように思います。地域の中でいろいろな年代の子がいろいろな機会や遊びを通して経験できていたことが、今は全然できない社会になっているのではないか、そういう機会を意図的に作っていくことも今の時代には必要になってきているのかと思っています。</p> <p>この社会教育委員の会では、こんなことをやりたいとか、これが必要ではないかという思いや、これは何のためにやるのかということをお互さまと共有しながら進めたいと思っています。教育という言葉にこだわらず、好きだ、知りたい、やってみたい、それを育てたいという考え方で進められたらいいかなと思っています。みなさんのお力添えをよろしくお願いいたします。</p>
副会長	<p>【副会長あいさつ】</p> <p>大村と申します。私は大学教員として社会教育、生涯学習を専門に研究していますが、この領域に関わっていてすごく思うのは、今、会長がおっしゃっていたような異年齢集団が会うことであったり、予想していなかったような出会いとかを間近に見たりする現場があることが素晴らしいということです。そういったことを普段の生活の中で実際に見ていらっしゃる方々が集まって、行政計画が軸にはなりますが、今後の未来を描くための議論をする場ですので、非常に貴重な機会だと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>会議が始まります前に本日の会議は10名の委員のうち8名の委員にご出席いただいておりますので、丸亀市社会教育委員の会に関する規則第6条第1項に基づき、本会が有効に成立しておりますことをお知らせいたします。</p> <p>それではただいまから議事に入ります。</p>
会長	<p>【議長選出】</p> <p>(丸亀市社会教育委員に関する規則第4条により会長が議長に就任)</p>
会長	<p>【議事】</p> <p>それでは、私の方で議事を進めさせていただきます。本日は議事が1件、報告が2件ございます。議事(1)令和5・6年度社会教育委員の会における協議テーマ、スケジュールについて、事務局より説明をお願いします。</p>

課長	<p>【令和5・6年度社会教育委員の会における協議テーマ、スケジュールについて】 《資料2～9に基づき説明》</p>
会長	<p>ありがとうございました。市の方向性が示されたように思います。事務局の説明の中でリカレント教育という言葉が出てきましたが、少し分かりにくいと思いますので、補足説明をA委員からお願いします。</p>
委員	<p>資料6を見ながら説明します。リカレント教育というのは、平たく言えば社会人の学び直しです。一般的には、大学、高等教育機関を修了して働き始め、その後、キャリアチェンジなど何らかの事情により仕事を中断して、もう一度、学校教育機関等に入り直して、そこで学んだ専門性を元に、また働く場へと戻っていくという、そういう仕事と学びの切り換えの繰り返しのことを指します。しかし、日本の場合は、仕事を休まずに学び直す学習もリカレント教育に含まれるとしており、丸亀市でも、それも含めて推進したいということかと思いません。</p> <p>また、生涯学習との違いですが、概念として生涯学習が上にあって、その中の一つにリカレント教育があるというとらえ方でいいかと思えます。</p> <p>今の説明で不足することがあれば、随時、協議の中で明らかにしていけたらと思います。私からは以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。本日は、協議ということではなく、協議内容とスケジュールをみなさんと共有することになろうかと思えます。</p> <p>先ほどの事務局からの説明と、リカレント教育の説明をお聞きになって、何かご質問、ご意見等がありますか。</p> <p>特にないようでしたら、一人ずつ感想などを言っていただけたらと思います。</p>
委員	<p>一生、学ぶということは大切だと思います。また、それを自分のためだけでなく周りに還元する仕組みを市が考えているということはすごくありがたいことですし、自分としても貢献したいと思っています。</p>
委員	<p>リカレント教育として、職業上、必要な知識や技術を社会教育で扱うということの意味がよく分かりませんでした。</p> <p>職業上で必要な知識というのは、一般的な教育ではなく、例えば私が関係したのであれば、映像の制作やホームページ作成など、現実にはそれらを作るくらいの知識でないと仕事になりません。そういう意味では、ある分野に絞って深く勉強しなければ、職業に生かすことは難しいと思います。</p> <p>私がやっているのは、大体、同業者や関係する知識を持った人などとネット</p>

	<p>ワークを組んで、そこでいろいろ議論することで、それが仕事に直接結びつきます。例えば、こういう技術があれば、こういう分野の仕事ができる、というようなこともそこで議論ができます。一般的な勉強では、職業では使えないという感じがしています。また、職業となったら、ニーズだけでなく、営業や会社との付き合いなど、そこまで入り込まないとなかなか使えません。</p> <p>リカレント教育も含めて、協議がこれからどういう展開になるか、勉強させてもらいたいと思っています。</p>
委員	<p>補足していいですか。リカレント教育は、実は歴史が古くて、1970年ぐらいにはすでに言われていました。要するに産業が変わって、いろいろな職業が新しく生まれる時代に、社会教育の分野でも初動教育をしましょうという、OECDの先進国の集まりの中で議論されました。ですから実は、リカレント教育の方が生涯学習より歴史が古いのです。</p> <p>しかし、現状、働きながら学ぶという環境があったのかと問われると、やはり会社勤めされている方が多いという状況もあって、実態としては働きながら公民館に行くという方は少なかったように思います。</p> <p>本来、リカレント教育というのを先にやらなければいけなかったけれど、なかなかできないまま時代がずっと下って、今、改めてリカレント教育をもう1回頑張らなければならない時代になったのではないかと、多分、丸亀市の方もそう考えているのではないかと思います。</p> <p>しかし、B委員がおっしゃったような環境を、生涯学習の場で実現することができるのかという問いかけは、大事なことだと思います。</p>
課長	<p>本当に仕事に役に立つような技術や知識を学ぶとなると、そもそもどのようなニーズがあるかということについても、私どもの部署では十分な把握ができていません。むしろ産業観光課の方が把握しているのではないかと思います。産業観光課では現在、従業員が仕事に関する研修を受けた場合に行う費用助成の制度を設けております。仕事に役立つ勉強の機会となると、会社が必要と考える研修を従業員に受けさせて、それに関する費用の一部を補助するなどのバックアップを市が行うという形が、丸亀市くらいの規模の自治体としては現実的な進め方かと思っています。丸亀市の生涯学習や社会教育の分野でリカレント教育に取り組むのは難しいのではないかと、正直、私も思っているところです。</p> <p>ただ、考え方としてリカレント教育を紹介したいと思ったのと、また、昔からある、社会人の学び直しという分野に近い放送大学につきましては、生涯学習課の所管施設である飯山総合学習センターの中に「分室」があります。飯山総合学習センターは図書館も併設しておりますので、社会人が学び直したいと考えたときに役に立つようなものを提供できないかと、今のところはそういう</p>

	<p>なことを考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>教育の場を実際にどんどん作るということではなく、学ぶことに対しての環境づくりに対する意識ですよね。</p>
<p>課長</p>	<p>はい。</p>
<p>委員</p>	<p>丸亀市の市民学級について見てみましたが、これが悪いというのではなく、職業的なリスキリングやリカレント教育というものをやっと実現する時代になったので、たくさんでなくてもいいので、そういう講座が一つ、二つあることが大事なのかなという印象です。</p> <p>例えば、長野県などは先進地になりますが、そういう県では市町村レベルでも職業にかかわるような、起業家塾のようなものを取り入れたり、直接資格にかかわらなくても、個人事業主向けのセミナーを開催したりしています。また、農家の方が多いので、農産物の品種に関する勉強会を継続してやるということも、結果としてはビジネス支援につながる部分もあると思います。そのような国内の先行事例を事務局の方でも幾つか検討されるというのもいいのかなと思います。すぐでなくてもいいのですが、リカレント教育を考えるのであれば、講座の一つでも、そういうビジネス支援的なものを取り入れてはどうかと思います。</p> <p>私は図書館協議会にもかかわっているのですが、例えば佐賀県のある地域の図書館では5名ほどの勉強会があって、そのうちの1事業者が水力発電の特許資格を得たそうです。このように、小さなモーターで実現できる家庭用のものについて、図書館の資料請求を利用しながら特許請求ができたという事例もありますので、何か継続的にやっていくと、1事例でも2事例でも成果が出るのではないかという印象です。</p> <p>それから、静岡市の事例は非常に大事ではある一方で、課長が言われていた地域性をどう見るかということですね。丸亀市のコミュニティセンターには、比較的、地域の人材が集まりやすいと思います。これはいいところだと思いますが、逆に言うと、私も含めて職業で香川県に来た者からすると非常に見えづらいですね。そういった意味で、コミュニティセンターの良さと、移住者とのかわり代というのが、最近マルタスもできたことによって、少し変わってきている気もします。そのようなことを意図した、シチズンシップを育むような、コミュニティセンターを巡回するような講座があると、何か共有しやすいのかなという印象です。</p> <p>問題は、中身を何にするかですよね。移住してきた人と、もともと地域で住んでいらっしゃる方とは職業や年齢層が微妙に違いますし、移住してきた人がずっとここに住むかどうか分からないということもあります。静岡市の事例</p>

	<p>でいうと、結構参考になりそうな講座が多いと思います。地域のことや環境防災などがありますが、特に防災は、おそらく何かのキーになると思われます。</p> <p>丸亀市もそうですが、ハザードマップを作っているでしょうから、ハザードマップの見方のようなものを含めた情報というのは、きっと移住者であろうと、地元の方であろうと重要なキーワードになってくる気がするので、防災などをテーマにしながら講座を考えていくのはどうかと思います。</p>
委員	<p>リカレント教育というのは難しい話だったので、リカレントという言葉インターネットで調べてみました。生涯にわたって就労と学習を繰り返すということで、C 委員がおっしゃったように、私の感覚でも、一生勉強することかなと思っております。</p>
委員	<p>市が提案している協議テーマは、「学習成果を社会で活用することを見据えた学びのあり方について」ですが、社会教育委員の会という組織の趣旨からすると、協議したことを最終的には生涯学習推進計画に結び付けていく必要があります。</p> <p>今の計画は第4次ですが第5次の計画を策定する際の判断材料とか項目とかにつながっていくような議論にしていかなければならないので、例えば、学習機会や講座数が減るという問題に対して、内容の見直しや、今後、必要な学びの機会を提供することについてどういう軸で見直しをすればいいのかということを考える必要があります。その時に、障がい者や外国人に対する生涯学習支援が不足しているのではないかと、そういう点から協議していかないと理想像ばかりの話し合いになってしまうこともあると思います。理想像を掲げているところの足元を常に見ながら議論していくようにしたいと思っています。市民の学びの機会というのはすごく重要なポイントだと思うので、この点について次回以降、話を深められたらと思っています。</p> <p>また、B 委員がおっしゃったように、領域や職種ごとに問題意識や関心は異なると思うので、専門的な話というのは限界があると思います。しかし、例えば資格系を増やすなどの視点で講座を考えてみるとか、福祉だったら福祉行政の分野で必要とされている人員の養成とか、どういう領域で人材が不足していて、それを教育事業を通じてどういうふうにサポートすべきかというのは分かりやすい課題だと思います。そういうところを事務局として探していくなど、いずれにしても、もう少し会議内容が具体的になっていくと協議もしやすくなるかなと思います。</p>
委員	<p>私の職業は建設業ですが、この建設業というのはリカレント教育がかなり求められる業種だと思います。10年ぐらい前から、資格がものすごく大事になりました。資格は国家資格でいろいろありますが、ここ数年、資格は持っていて</p>

<p>委員</p>	<p>当然で、「この現場にはこういう職業教育を受けていないといけませんよ」といった形で、国が作業員の教育にものごく力を入れています。作業員に教育を受けさせれば会社の点数が上がる、作業員の点数も上がるという形で、今、底上げがかなり行われていると思います。</p> <p>今このリカレント教育という言葉を目の当たりにして、自分が置かれている状況を改めて考えました。私もこの年になってもまだ勉強していますし、従業員に対しても、資格取得などを推進しています。今は専門的な知識がものすごく求められている時代かなと思っています。</p> <p>私は前職で印刷業をしていましたので、こちらの生涯学習のパンフレット作成にも十数年、携わっていました。しかし、講座の内容や、講座を行う理由について深く考えることはなく、間違いがないようにという思いで作っていました。</p> <p>私自身は転職せざるをえなくなり、今は前職とはまったく違う食品関係の会社で働いていますが、飲食に関するスキルがまったくない状態で転職したところが本音です。転職を望まれている方は、少し調べたいとか、受けてみたいなどという意欲的な方もいらっしゃると思いますので、そのような講座自体も新しく考えていけば変わっていくのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>みなさん、それぞれの立場からのご意見を発表していただけたかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>補足していいですか。私自身が短大に勤務していますし、あるいはA委員も大学に勤務しているので大学の側から言うと、実は、リカレント教育が進まなかった理由でもあります。やはり、大学や高等教育機関で資格を取って、職場に帰っていただけるという、働いている人を前提とした教育体制になっていないことがあります。生涯学習だけでは進みません。</p> <p>海外の場合のリカレント教育は、大学拡張といって、「大学が受け入れますよ。社会人の方、どうぞ働きながら資格を取りに来てください」というのとリカレントがワンセットです。しかし、日本の場合は、生涯学習にしても会社勤めの方が公民館に行くのは難しいし、大学側もそれを積極的にやっていないくて、結果として50年間放ったらかしていたということなんですね。</p> <p>ですから、リカレント教育を丸亀市に改めて頑張っていたらいいのであれば、周りの大学や短大も、50年前にやらなかったことを改めてもう1回やる時代が来たくらいの感覚で、分野によっては協力できるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>何をしよう、これをしようという前に、やはりこの丸亀市の課題、つまり、こういうところが欠けている、こういうところにもっと力を入れよう、ということについて、もう少しみなさんと協議したらいいのではないかと思います。</p>

<p>課長</p>	<p>次回の12月の会で丸亀市における現状と課題について協議ということで、何か示していただけるんですね。</p> <p>はい。何か資料があった方が意見も出やすいですし、より焦点を絞った議論になるかと思っています。今、いろいろなご意見が出ましたが、市としましては、地域の課題の解決ということを重点的に考えたいと思いますので、地域で必要なことを考えるということを基本に、現状と課題については皆さんの方からご意見を頂戴したいと考えています。</p> <p>資料につきましては、会長、副会長にも相談したうえで、みなさんに協議してもらえそうな資料を幾つか提案し、みなさんの専門性や経験からご意見を頂くような形で進めていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>教えてほしいのですが、私は御供所町に住んでいますので、旧市街地は分かります。合併前の丸亀市の状況というのは、おそらくコミュニティの方々が地域の課題を集約されているのではないかと思います。飯山とか綾歌の方の地域課題の集約というのは、実際になされているのですか。</p>
<p>部長</p>	<p>合併を機に、飯山・綾歌の方でも丸亀市と同じような形で、地域コミュニティが小学校区単位で組織立てされております。現在はそのコミュニティ単位を基本にして、様々な活動が行われています。ですから、そこで種々の活動の舵取りをされている役員さんたちが地域の現状や困りごとについては最も把握されている状況だと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば、さきほどA委員が提案したような、外国の方とのコミュニケーションをどうしようか、といった問題であれば、多分、城北とか城乾とかの地域から出てくると思うので、そういう集約が可能だったら事務局の方でもちょっと聞いていただいて、公開できる範囲で、会の中で共有していただいたら、多分、我々委員も理解しやすいかと思います。</p>
<p>課長</p>	<p>なるべく協議が進むような材料を提供していきたいと思っています。みなさんの方からこんな資料があったらいいということを今日聞かせてもらいたいとも思っておりましたので、遠慮なく言っていただけたらと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>たくさんのご意見をありがとうございました。いろいろな市政の課題がありますので、それらについて集約していけたらと思っています。</p> <p>事務局から提案のあった協議テーマである「学習成果を社会で活用することを見据えた学びのあり方について」、この2年間、みなさんと協議するということがよろしいでしょうか。</p>

委員	【了承】
会長	はい、ありがとうございました。
委員	1点だけ、付け加えさせてください。静岡市の事例をご覧くださいと、講座会場がズームもしくはYoutubeというのが幾つかあります。インターネットというのは、もう外せないインフラですので、インターネットで受講できるものを幾つか入れておくことが逆に自然なような気がします。
会長	確かに、WEB講座など、学びの間口を広げるという点では必要なことではないかと感じます。丸亀市では、学校教育の中でインターネットの教育の場をなかなか広げられないという問題も聞きます。大分、改善したのでしょうか。
部長	GIGAスクール構想の下で一人1台端末という時代を迎えて、丸亀市でもそれに対応できるよう環境整備を行ってきました。しかし、利用に際しては、さらなる回線環境の整備が必要だったり、また、今はインターネットを使っただけの教育が始まったばかりで、教える側の先生方についても研修を継続して実施する必要があったりするという状況とお聞きしております。
会長	また一つ課題が見えてきましたね。 今回の会議では現状と課題に関する協議ということで進めていきたいと思えます。それから、現在行っている講座などの現状と課題となっていますが、講座の課題ですか。
課長	現在の講座については、結果的に成果を生かすことができているかもしれませんが、学んだ成果を今後にも生かす方法までを考えた講座の作り方をしていませんので、その点が課題の一つと考えております。
会長	どういう講座を作り上げていったらいいかというところを目標に、市民や丸亀市の課題を見据えたものを組み込んでいくという時点で、こういうところが足りないのではないか、というような視点で考えていくということによろしいですね。
課長	はい。例えばコミュニティセンターで行う講座の場合、受講後にコミュニティの方とこのようにかかわっていただきます、など、そのような流れまでを考えておけば、学んだ成果を今後にも生かすということもできるかなと思っています。先ほど防災の話も出ていましたが、地域の方でそのまま現地を歩いてみる

	<p>など、そのような展開もできるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>今の話についてですが、かつては、公民館があつて、社会教育課があつて、社会教育主事がいて、公民館の方々と連携して、いわゆる企画講座を開催していました。また、それとは別に、公民館の利用者の方々が利用者の声を聞きながら自主講座を開催することもありました。つまり、利用者と、それから自治体の教育委員会の方々の両方で講座を作ってきた経緯がありますが、1990年代以降、生涯学習振興法ができてから、社会教育主事を置かないような自治体が出てきました。あるいは配置していても、ほかの業務と掛け持ちしている状況から、公民館の人と相談してきめ細かく講座の内容を考えるということができないという状況もあります。</p> <p>そのような中で、丸亀市の場合はどうか分かりませんが、自主講座のようなものを募って、それらを集めた形の講座を開催しているようなところも散見されるのが現状だと思います。</p> <p>それがいいとは言えませんが、そうせざるをえない状況の中で、もう1回、かつて実施していたように、きちんと企画講座をやったほうがいいのではないかと、もう1回見直されてきた時代なのかもしれません。会長がおっしゃっているのは、多分、その企画的なものをされるのでしょうか、という確認をしたかったのですよね。</p>
会長	<p>そうです。</p>
課長	<p>企画講座の意味がよく分からなかったのですが。</p>
委員	<p>課長が言われたように、何か地域に成果を還元するものを誘導していき、位置付けることにより、ある種の丸亀市らしい企画として講座が成立しますよ、と私は理解しました。</p>
会長	<p>会議として、今まではこういう市民学級をやりました、という報告だけで終わっていたものを、私たちが日々感じている課題と、こういう人が育っていったらいいなというのも組み込んでいくという形ですか。</p>
課長	<p>はい。</p>
委員	<p>付け加えると、A 委員が発言されたことにかかわるのですが、例えば今すぐではありませんが、いわゆるやりたい講座を募って、そのまま全部受け入れるというやり方でいいのかどうかということは、またどこかの時点で議論する必要があるかもしれません。</p>

	<p>ですから、ひとまずはこういう課題があるから、こういう講座をやったほうがいいのかという提案を事務局から行うということはいいいことだと思いますが、一方で、それを行うために、いわゆる自主的な講座を制限する必要があるのかということも議論する必要が出てくるかもしれません。そのことについては、事務局としてもどう扱うか、説明責任があるでしょうから考えなければいけません。</p>
課長	<p>はい。今までは現場の課題やニーズも十分把握せずにこちらで考えて講座を開催していたというところがあります。あるいは、当初は課題と考えていたものの、今ではもっと重要な課題が生まれているということもあるので、今の講座をもう一度見直したいという思いで協議をお願いしたいと思っております。</p>
委員	<p>関連ですが、コミュニティの側から言うと、今の議論はすごくいいことだなと思っています。要するに、我々コミュニティとしては、どういう課題があるかというのは結構日ごろから把握しています。その課題を解決するためにはやはり勉強しなければいけないものや、人海作戦で何とかなるものがあるなど、課題の種類が違います。</p> <p>そういう意味では、課題解決のための講座をやってもらうのはありがたいことだし、コミュニティ単位でも何らかの形で行っています。</p> <p>ただ、今年決めたものを来年実施するというペースでは遅いこともあります。極端な話として、来月行うくらいの機敏さが必要なことがあります。本当に役に立つものにするにはそのような機敏さも必要ですが、それが無理なら、もうこちらでやります、ということになりますので、連携と速さを希望したいと思います。</p>
課長	<p>どうしても年度単位の事業にはなりますが、そのようなご意見があるのなら、対応できるように考えなければならぬと思いました。</p>
委員	<p>インターネットを使ってコミュニケーションをとる方法について考えることがありますが、どちらかといえば若い方を対象に考えたい。しかし、現状は高齢者が多いです。参加者にこまめに対応できればいいのですが、十分できません。また、広がりも見られない。ですから、市の方で計画して広く打ち出せば、みんなも参加しやすいかなと思いました。</p> <p>ただ、仲良しグループみたいになってしまうと、やはりなかなか広がりません。もう少し広い幅を持ったような対応ができれば、コミュニティとうまく連携できるような気がしますし、それをしていただけたらありがたいです。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。年間3回の会ですので会の進みが遅いとは思</p>

	<p>いますが、事務局から示したい資料があれば、会の合間でも早めに配付していただきたいと思います。</p> <p>マルタスが開館して、市民活動としての講座、生涯学習ともいえる講座がかなり増えてきているのではないかと思います。ですから、ここだけの視点ではなくて、いろいろなところで行っている講座の情報も収集したらいいのではないかと思います。</p> <p>あと、文化課が行っているサポーター養成講座があります。これは、サポーターになってくれる人に講座への参加を呼びかけて、芸術推進に関わる人材育成を行うという内容です。いろいろなサポーターが企画する機会を作ったり、自分たちで舞台を作って発表したりするとか、その人たちが活躍できる場を作るような講座も組み込まれていますので、そういう仕組みを作っていくのもいいかなと思っています。</p>
会長	<p>【報告】</p> <p>では、次に報告に移りたいと思います。</p> <p>報告（１）の「地域学校協働活動の周知と協力を呼びかけるチラシの作成配布」について説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《資料７に基づき説明》</p>
会長	<p>ありがとうございました。どのような企業が学校と協働されたのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらの方に問い合わせがありましたのはパチンコ屋さんです。お店のある校区の協働本部の会長さんにおつなぎしました。具体的な内容については確認できていませんが、また後日、ご報告させていただきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。どんどん開かれた学校で、地域の方たちが学校のため、子どものために動いていただける場を作るといいことだと思います。このチラシを見ると、学校のボランティアを探しているようにしか見えないということもありますが、やはり地域の方たちが「こんなことができるよ」ということをどんどん学校教育課や生涯学習課に伝えていけば、つないでくださるということですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>みんなで小学校に行ったとか、芋ほりをしたような活動報告をしたらいいですか。</p>

事務局	学校教育課でも把握しているとは思いますが、生涯学習課としてもご報告いただければ大変ありがたいので、またお願いできたらと思います。
会長	続いて、報告（２）令和６年丸亀市二十歳の成人式について説明をお願いします。
事務局	《資料８に基づき説明》
会長	ただいまの説明について何かご質問などはありますか。
委員	情報発信に使うインスタグラムについてです。多分、ビジネスアカウントを使うと思いますが、ビジネスアカウントには簡単な分析ツールが入っていますので、どこからアクセスしているとか、情報を見ている人が誰なのか、簡単に統計で示すことができます。ビジネスアカウントを使った方が、後々いろいろなデータを分析するにはいいかと思しますので、ご検討ください。
会長	アクセス数だけでなく、どういうデータを集めることができるかというのは、後々の判断にもつながるのではないかと思います。今回も実行委員会形式でやっていらっしゃるんですね。
事務局	そうです。今年度につきましては、合計８名の方と一緒にやっています。県外に下宿している方が１名おられますが、今年度につきましても、毎回、会議に直接ご参加いただける方に実行委員をお願いしています。
会長	過去の記念写真撮影についてはいろいろな混雑があったように思いますので、スムーズにいくような内容にしていきたいと思います。
事務局	当日の応援職員や、写真を撮っていただく写真協会の方などにもご相談しながら、円滑に進むように計画していきたいと思っています。
会長	社会教育委員のみなさまにも、二十歳の成人式のご案内が届きますので、お時間のある方はご出席いただけたらと思います。
委員	先ほどの地域学校協働活動のチラシのことですが、チラシの裏面に「お近くのコミュニティまたは、お子さんやお孫さんが通う学校のあるコミュニティにお問い合わせください。」という一文が入っています。以前この会で市の方へ、コミュニティと学校区が違うことによって、やりたい気持ちがあってもなかなか協力しにくいという状況があるということをお話していたことから入れてくれ

	<p>た文言だと思います。書き加えてくれたことを感謝します。ありがとうございました。</p> <p>これを見て、私は早速、孫が通う学校のあるコミュニティに申し込みましたが、ほかの校区の方が小学校のボランティアをしてくださるといことが本当にいいのかなというような感じで、なかなかスムーズなやりとりができませんでした。</p> <p>でも逆の立場だと、孫がそこに行っているだけの人で、どこの方かも分からないという状況ですので、「ちょっと検討して返事をさせていただきます」ということは、当然やりとりとしてあると思います。Bさん、やはり別の校区の人から、学校ボランティアをさせてほしいと言われても、「はいはい」というわけにはいかないですね。</p>
委員	<p>その辺は臨機応変ですね。</p>
委員	<p>なかなかうまくいかないのであれば、また別の方法を考えるのもいいのかもしれないですね。やはり申し出てくれる方が気持ちよくできるような形になるよう、一工夫があればいいですね、</p>
委員	<p>城坤地区で住んでいた方が、ほかの地区で家を建てて出ていくということがありました。その方が所属するコミュニティは変わりますが、今も城坤で活動をしてきています。「本人の気持ちだけで大丈夫ですよ」ということでね。ほかの地区には、悪いことをしたなどはと思いますが、長い間、そこで生活していたのでつながりはそちらの方が強いですからね。そこは臨機応変です。</p>
会長	<p>今日はたくさんの活発なご意見をいただきましてありがとうございます。この社会教育委員の会が、元気な会で、いろいろ意見を出し合える会になったらいいなと思っています。</p> <p>議事進行を事務局の方へお返しいたします。</p>
事務局	<p>会長、ありがとうございました。次回の会議は12月を予定しております。また日程が決まり次第ご案内いたしますので、ご出席の方よろしく願いいたします。それでは以上で令和5年度第2回丸亀社会教育委員の会を終了いたします。委員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。</p>

—終了—